

「理解しあおう発達障がい」



福井 一仁さん

発達障がいとは？

広汎性発達障がい（自閉症など）
・学習障がい・注意欠陥多動性障
がいなどのことで、脳機能の発達に
関係する障がいであり、他人との関係づくり
やコミュニケーションなどが苦手とされてい
る。時には他の人よりすぐれた能力を発揮す
る場合もあり、周りから見て行動のアンバラ
ンスな様子が理解されにくいこともある。

発達障がいを取りまく状況は…

- ・発達障がいの人は常識がない
といわれることが多い。
- ・本人にはそのことが全くわか
らないため、本人への批判・
否定・いじめ・無視・虐待に
つながることもある。
- ・その結果、本人の不登校、引
きこもり、うつ病、ニート、
フリーターなどになったり、
犯罪に巻き込まれたりするこ
ともある。

まずは発達障がいを理解すること

○発達障がいのある人の共通した特性（例：一部紹介）

- ・肯定表現「廊下は歩きましょう」はわかりやすいが、否定表現「廊下は走らない」は、
走らないならどうすればよいのか次の行動について考えにくいので、理解が難しい。
- ・抽象的な言葉は苦手…ちゃんとしなさい、やさしくしましょうなどは通用しにくい。
- ・理解できることや決められたことは、律儀なほどきちんとする。
- ・規則、役割、相手の気持ちや立場が理解しにくい。 など

私たちができる発達障がいの人への支援・・・
まずは『よき理解者であること』です。

「しかる」「おこる」のではなく、
その特性のまま、その人にあった療育をする
ことによって、その特性をカバーする新しい
技術を身につけることができる。（その特性
のまま環境への適応を支援する。）